
落ちこぼれのエース君

桜一文字

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

落ちこぼれのエース君

【Nコード】

N6394X

【作者名】

桜一文字

【あらすじ】

時は立項。
りつこう

魔法が生活の一部として扱われる時代。

世界中では魔法が当たり前のように広まっていた。

そして。

この世界を創りだしたく最強の魔術師の末裔、栞風 昂は東地区
最高峰の東雲学園高等学校に入学することになった。

しかし、その入学テスト結果に問題が起こり、彼はその実力に反した最低クラス<Xクラス>に振り分けられてしまう……！！

＜最強の魔術師＞の血を引く少年、栞風 昂と彼を取り巻くお馬鹿な仲間たちの学園ファンタジー、いよいよ始まりです！！

第一話（前書き）

どうも、初めまして。

新人の桜一文字です。

本当にこんな私に文学能力があるのかどうかはわかりませんが、一応高校では文芸部にてせっせと小説を書くのに勤しんでおります。

これから、この『小説家になろう』という素晴らしい場所で小説らしきものを執筆させていただくのですが、ものすごく緊張しております。

小説家になった佐島 勤さんをはじめ、ここの人たちはレベルが高いですね。本当に。

私も皆さんに負けじとくらいつく気持ちで頑張るので、これから何卒よろしくお願いいたします。

第一話

——東雲学園高等学校。
しのめ

立地地域は東部の中心区。

元々、魔力濃度の高い森林が立ち並ぶ山岳地帯を開拓して建設された、東地区最高峰と謳うたわれる有名進学校だ。

しかしここでの進学校とは単に学力に対しての話ではなく、ある一つの教科に対して大きく作用している。

教科名——『魔術技能』

つまり、この学校は魔法技術に長けた魔術師の卵が集まる場所というわけだ。

1

今朝けさの天候は、お天気お姉さんの予報が見事に外れ、曇天の空が地平線の果てまで続いていた。

「入学初日からこれかよ……ったく」

肩からショルダーバックをぶら下げた少年が、気だるげな愚痴ぐちを無機質色の空へと放つ。そんな不機嫌そうなオーラを隠そうともしない少年の肩の上。

せわしなくドングリの皮を剥ぐ作業に没頭していたシマリスがふ

いと顔を上げ、

「ご主人。イライラは牛乳の不足が原因ですよ」

NHKのキャスターよろしく、じつに流暢な言葉を投げかける。

誤解を生む前に一つ説明しておくが……このシマリス、いわゆる『使い魔』というやつで、もちろん一般の動物は人語を発することはない。

「確かにここ最近、牛乳を飲んでないな……」

「でしょう!」

主人の考え込む態度の隙をつくように、使い魔が次々と牛乳の必要性を捲し立てる。数日間己の大好物が味わえなかったせいもあり、その勢いは半端なものではなく、

「わかったわかった。歸りに牛乳買って帰るから」

わずか数秒足らずで、使い魔の根気に気圧された少年は二つ返事で要求を受諾した。

「けど、とりあえず入学式が終わってからだぞ?」

「問題ないです!」

「お、おう。ならいいけど」

いつにない語気の強さに少年は苦笑の表情を浮かべつつ、長く険しい坂道の終着地点、強力な魔法結界を纏った学園へ足を踏み入れるのであった。

入学式はどこも似たようなものだ。

校長のありきたりな挨拶のなか、少年は胸ポケットに押し込んだ使い魔とテレパシー系統の魔法を駆使し会話を行っていた。

「（……これは拍子抜けもいいところです。仮にも魔術学校最高峰に君臨しているというのに、入学式の式典で一切魔法を使用しないとは）」

「（仮には余計だが、お前の主張には同意見だよ）」

「（こんな平凡な……見たところ手も込んでいないようですし。今日、並みの学校ですらもっと華やかな式を——）」

「（少し落ち着け。オレの記憶だと、昨年まではこの学園もド派手な魔法の演出があったはずだ。資料に載っていたのを見た気がする）」

「（……？なら、今年に限ってどうしてこのような地味な式に？）」

「（……あくまでオレの勝手な見解だが、今年は入学式のために魔法を使う余裕がないのかもしれない……）」

「（余裕がない……とは一体？）」

「（なんらかの、たとえば学園の評価を落としてでも優先しなければいけない重大な問題が起きたとか）」

「（そんな馬鹿な……）」

「（だから、たとえばの話だ。本気にしないでくれ）」

「（ですが、それ以外になにか他の理由があるのでしょいか？）」

「（……）」

「（……）」

居心地悪そうに押し黙る一人と一匹。

そして。

この少年の予想は、物の見事的中することとなる。

これから起きる出来事によつて――……………

第一話（後書き）

どうも桜一文字です。

まずは第一話の前編でペンを置かせてもらいます。

誠に申し訳ございません。

続きまして。

お気に入り登録をしていただいたお二方。

本当に有難う御座います。

まだまだ未熟さがある私ですので、どうぞ至らない点は遠慮なくご指摘してください。

それでは、また次回お会いできるその日までさようなら。

この使い魔、牛乳が大好物です。可愛い。

10／18 桜一文字

第一話 続き

……かくして、それは全校生徒を目の前にして唐突に訪れた。

式典を疾走する中型犬。その外見、大きさとともに柴犬を想像してくれると都合が良い。

さらに、周りに気付かれていないところを見る限り、どうやら契約者本人にしか感知出来ない微弱な存在のようだ。

その幽霊的ポジションの使い魔が、進行役を務めていた男性教員の耳に重大な情報を伝達したらしい。

途端、教員の顔が目に見えて快活かいかつの表情へと変わっていく。

校長もその事態に、どこか安堵あんどの表情を浮かべる。

次いで一度だけ顔を見合わせた二人は、互いに小さく首を縦に振ると、

「誠に申し訳御座いません。こちらの諸事情により、一時校長先生のお話を後に回させていただきます。続きまして、生徒指導主任の藤木梓先生から緊急のお知らせです」

強引に校長の話を断絶した。

「（……こうもあからさまに怪しいと、かえって清々（すがすが）しいものを感じますね）」

「（オレは全く清々（すがすが）しくないけどな。十中八九、これから被害を被る身として）」

「（大丈夫ですよ。私には一切合切関係ありませんので、はは）」

「（……………）」

「（……………冗談ですよ？）」

「（……………そういえば、日本人は牛乳に弱いって知ってたか？）」

「（……………冗談ですよ？）」

「（……………お、綺麗な女性だな……………）」

「（無視ですか！？スルーですか！？ちょっとした冗談じゃないですか！！）」

泣いて謝る使い魔を存在から拒絶した少年は、先方名前を呼ばれた若い女性教員の姿を酷く粘ついた視線で追う作業に集中していた。

（しかし……………なんて完成された肉体美だ。まさに神がオーダーメイドで造ったしか思えない……………！！特に彼女のフォルムを整えている黒スーツ……………くっ、オレのICBMをここまで疼かせるとは中々……………ん、空間が歪んで……………？）

——ざくっ。

風景に溶け込む魔法、『空間擬態』の施された黒彩色の短剣が、少年の額に突き刺さる。

「（いぎゃああああああああああああ！！）」

「（ご主人！？）」

頭から血を流し、激痛にもがく少年を心配する使い魔。

だがしかし、この制裁を受けたのは彼一人だけでなく、健全な男子高校生のほぼ全員であったことを理解してもらいたい。

……………少年の今後のためにも——————

第一話 続き（後書き）

どうも三度目の挨拶となります。
桜一文字です。

まず初めに、
お気に入り登録をしていただいた四名様、アクセスをしていただいた読者様。

ありがとうございます。

まだまだ未熟な点は御座いますが、その際は是非ご指摘頂けたら幸いです。

続きまして。

次でようやく第一話も終わりの訳ですが……主人公の態度が一気に変態紳士になりましたね。話し方はイケメンなのに（笑）

第二話ではヒロインも登場させていくつもりなので、期待して待っていてください。

それでは、また会える日までさようなら。

……ICBMは下ネタです。男の人の息子の様なものです。

10 / 26

桜一文字

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6394x/>

落ちこぼれのエース君

2011年11月17日04時59分発行